

社会の一員になるために

働く大人はかっこいい

翌 檜 新聞



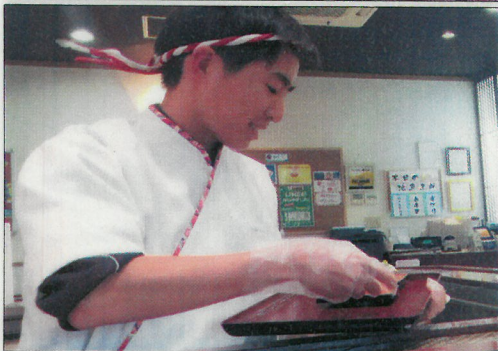
志 寛 録

第4号
2019.3.12
第73代
伊敷中生徒会



職場体験学習

2月20日(水)から2月22日(金)までの三日間、一年生は職場体験学習がありました。それぞれ本物の仕事の場で様々な体験をしました。仕事をすることの大変さや楽しさ、責任をもってすることの重大さを体全体で実感し学ぶことができました。職場体験の三日間を通して



二年一組の伊藤俊介くんは「私は、今回の職場体験学習を通して、働くことの大変さと楽しさを同時に感じることができました。清掃などつらいと感じるときもありましたが、お客様に『役に立つから頑張れ』といわれて精一杯働くことができました。勤務について深く考えることができた、貴重な体験だったと思います。」と述べていました。職業は全てが華やかで輝く

仕事ばかりではありません。地道な作業が多い職業もあります。しかし、どの職業でもどんな仕事内容でも一生懸命に取り組む姿勢が大切だと思います。二年生は来年受験生となります。自分の進路をもう一度改めて考えるいい機会になったと思います。これからも自分の夢に向かって前進していきたいです。(吉住月那)

特集 SOCIETY5.0と私たち①

SOCIETY5.0は

昨年8月21日(火)の出校日、政府広報の動画を見たのを覚えていますか。ドローン宅配や無人走行トラックなど、今の時代には見られないものが登場しました。今の時代には見られないものが登場するそれが、Society 5.0の時代です。

なぜ、Society 5.0には、「5.0」という数字がついているのか。Societyは「社会」という意味。つまり、「5.0」には五番目の社会という意味が含まれているのです。一番目の社会は「狩猟社会」。矢や槍を使って動物を捕まえていた頃の社会です。それから、二番目の社会が「農耕社会」。稲作技術が大陸から伝わり、米や麦を計画的に栽培するようになった頃の社会です。そして、現在に当たる四番目の社会は、「情報化社会」。私たちの社会はインターネットの普及によって、これまでよりも様々な情報を獲得することができるようになりました。そして、次訪れる時代が五番目の「超スマート社会」です。超スマート社会の例として、よく取り上げられるのが、「AI」です。「AI」とは人工知能です。機械が知能をもち、人間の生活の中に入り込んでいく。

「AI」が生活に取り入れられることにより、便利になることは想像できます。「AI」が生活の中に取り入れられれば、私たちの生活はもっと楽になるでしょう。しかし、「AI」に頼りきりの生活にという訳にはいきません。人工知能が入り込んでくる社会に私たち人間はどうしていきべきか、考えていくことが大事です。

そういう社会になったとき、私たちに必要な力が何かというのを考え、その力を身に付けていることを伊敷中生徒会が目指しているのが、汎用的な資質・能力(課題発見力・情報活用能力・論理的思考力・協働する力・メタ認知)です。様々な授業や話し合い活動などでこれらの力を意識していきたいでしょう。

(安藤裕悟)



職場体験からの話について話している一年生(左)

生徒会の窓

みなさんは、「座右の銘」をもっていらっしゃいますか。私の座右の銘は「落ち込んでいるときこそ、自分を変えたい」と思っている証「拠た」です。この言葉は、大きな失敗をしてしまい、落ち込んでいた主人公を相棒が励ますときに使ってきたものです。

これまで、私は失敗を長く引きずってしまつておかげで多かったです。しかし、この言葉を知ってから、失敗をしても立ち直りが早くなりました。みなさんも失敗して落ち込んだ気持ちを引きずってしまつておかげでこれまでありませんでしたか。そういうときに、大切なことは、失敗をきちんと振り返り、次へつなげて自分を変えていくことです。

この言葉と出会ってからは、失敗をマイナスと捉えるのではなく、プラスと捉えていくことが大事だということに気がきました。私に気付きを与えてくれた言葉だからこそ、「座右の銘」としていつも心の中に留めておきたいと感じたわけです。

「座右の銘」とは、自分の気持ちを高めてくれるものであり、自分を変えてくれるきっかけとなる存在でもあると思います。世の中にはたくさんの言葉があふれています。毎日、たくさん言葉に触れています。たくさん言葉に触れてから自分の「座右の銘」を見つけてみてください。きっとあなたの支えとなるはずです。

(芹ヶ野 愛理)

三年生の先輩方ありがとうございました!

明日、卒業式を迎え、三年生の先輩方は伊敷中学校を卒業されます。私たち在校生は、様々な場面で先輩方にお世話になりました。その感謝の気持ちをお伝えします。

応援団でありがとう

△二年三組 山口大佑

僕は、白組応援団になってよかったです。分からないことがあったら先輩方が優しく教えてくださりました。また、演舞を間違ったときは先輩方に叱られてしまいました。とてもきつく、苦しい練習でしたが、みんなが励ましあって心が折れることはありませんでした。体育大会当日、緊張していましたが、いい演舞ができました。結果は、赤組に負けてしまいましたが、と



てもいい思い出になりました。来年また応援団になって二冠を取りたいです。

△二年四組 中野遼

先輩方とともに作り上げた体育大会は、今でも心にすく残っています。

先輩方と初めて会った応援団結団式では、うまくやっていけるかどうか不安でいっぱいでした。けれど、そんな私達に先輩方はやさしく話しかけてくれました。練習を重ねる度に、先輩方との距離が縮まり、少しずつ一つの団として活動できるようになりました。良かったです。また、練習演舞の二つ二つを体全体を使って丁寧に教えてくれました。一つずつ演舞が完成する度に大きな達成感を味わうことができました。そして、私は先輩方から伊敷中の応援団の伝統とともに先輩の在り方などたくさん学びました。

当日は、それぞれの団が一杯の演舞と応援をすることができました。団が一致団結し最高の体育大会を作り上げることができました。

先輩方が私達をリードしてくださったことにとても感謝しています。これからしっかりと応援団の伝統を受け継いでいきます。

ありがとうございます。

掃除でありがとう

△二年四組 田畑望良

掃除時間のときに、無言作業の徹底や掃除の仕方を理解するまで、しっかりと教えてくださりありがとうございました。無言作業を行うことで一人一人が集中し、効率よく作業を進めることができました。

また、雨の日で床がぬれているときは、乾いた雑巾で拭くことなど、学校生活では欠かせないことも学びました。私も、三年生の先輩方のように、誰にでも優しく、面白い先輩になれるようにしたいです。

△二年六組 野口優心

三年生の皆さん三年間掃除お疲れ様でした。僕は今まで掃除場が三年校舎の機会が多く先輩方の姿を見ることが多かったのですが、無言で静かに作業をしていました。また、リーダーとして終わりの会でのあいさつでも全体をよく見ていると分かる中身の濃いもので「先輩ですごいな」と改めて感じました。

また、掃除場所を知り合ったり、先輩と仲良くさせていたたり、無言でもきれいになったり、



た場所を見たりして達成感を味わうことができ、楽しかったです。

△二年三組 石澤悠生

部活でありがとう

僕たち一年生が中学校に入ってから二年間本当にありがとうございました。入ってばかりのときは本当に何も分からなかったけど、先輩方が部活の時に教えてくれたり、普段の生活でお手本を見せてくれたりしたことで、段々と中学校生活に慣れていくことができました。僕は校外からの入学だったので先輩方が優しく教えてくださったので今まで楽しく伊敷中で過ごすことができました。高校でも頑張ってください。

△二年三組 松元琴乃

三年生の先輩方、三年間お疲れ様でした。先輩方とは2年間という短い間、一緒にボールを通していろいろなことを学ばせていただきました。最初は未熟な私でしたが、日々の練習や試合などを通して、チームワークの大切さや礼儀プレーなど、少しずつではあります成長することができました。

生徒会でありがとう

△二年一組 亀田周杜

市群総体では悔しい結果に終わってしまったので「全員プレーで県総体出場!!」というチームの目標に向かって頑張ります。先輩方も高校に入學しても目標を持って頑張ってください。時々でいいので伊敷中に遊びに来てほしいです。本当に楽しい二年間になりました。

先輩方はこれまで受け継がれてきた三大伝統をより輝かせてくださいました。先輩方の凛とした姿での「門札」。心を落ち着かせる「黙想」。無言で行う「朝作業」。これらの姿を見て入学時から学ぶことがありました。次は僕たちが受け継ぐ番となります。

△二年二組 高添倅太

三年生の先輩方は、同じ広報班班長として本当に憧れる部分がたくさんありました。「いしきあい」ができていない状況の中、いい意見や新しい



い意見などを提案していったり、自分たち一年生の意見に対して、すごく積極的にアドバースや質問を出してくれたりしてすごうれしかったです。これからの高校生活を充実していきたいがんばってください。

△二年五組 上間咲季

三年生のみならず、代議員会や学校専門部会、さまざまな専門班活動などで、常に私たち一、二年生を引っ張ってくださりありがとうございました。先輩方は、会やなかにか意見を出さないときに、率先して意見を出してくださいました。様々な視点からの質問でいい意見を聞き出すことができました。また、その他の専門班活動でも、週目標の達成率がよく、充実した活動を行っている先輩方を心から尊敬しています。次は、私たち二年生が先輩方の後を継いで、新一、二年生を引っ張り、伊敷中学校の伝統を継承していかねばなりません。先輩方のようになれるよう、黄学年全員で協力して団結し、前進し続けていきたいと思

地域生徒会でありがとう

△二年五組 小畑絵里子

私は、三年生の皆さんが地域の活動に参加している姿から見習うところがたくさんありました。特に資源回収は、積極的に動いたり、一、二年生に指示を出したりして、お手本の姿を見せてくださいました。

三年生が卒業しても、進んで活動に参加したいと思

△二年二組 新地遥斗

地域生徒会の時、三年生が話し合いをリードしてくれたおかげでスムーズに話し合いをすることができました。これからは私たちがその役目を果たしていけるように頑張りたいと思います。また、来年新一年生が入ってきたときに、困っている子がいたら、優しく教えられるような先輩になっていきます。

編集後記

明日、卒業式が行われます。今まで様々な面で私たちが、二年生を支えてくださいました。体育大会や文化祭などの特別行事だけでなく部活や地域での活動をたくさんの方々の面で私たちが、二年生のお手本になってくださいました。本当にありがとうございました。先輩方から引き継がれた伝統を二、三年生で受け継いでいきたいと思

(安藤悠悟)